

区民の皆様へ

三輪地区



住民自治協議会だより



第40号

平成29年 9月15日発行

発行者 三輪地区住民自治協議会会長 徳武 康夫
事務局 三輪支所内 電話 225-9567 FAX 225-9647
E-mail: miwa.jichikyo@theia.ocn.ne.jp
HP: <http://www.miwajichikyo.com/index.html>

地域の音楽祭

三輪地区ふれあいコンサート 開催

7月2日（日）三輪小学校体育館で8回目となる「三輪地区ふれあいコンサート」が開催されました。

三輪地区にゆかりのある9つの団体に出演していただき、園児から小学生、中学生、短大生、成人と幅広い構成で合唱や演奏をしていただきました。

雨が降りとても暑い日でしたが、立ち見が出るほどの盛況でした。出演者を含め約650名の来場者があり、三輪地区の音楽文化を一緒に楽しむことができました。

お集まりの皆様、出演の団体の皆様、運営をお手伝いいただいた皆様に感謝いたします。

出演団体は次のとおりです。

- 1 三輪保育園
- 2 三輪小学校吹奏楽団
- 3 童唱会『ぎんの鈴』
- 4 柳町中学校室内楽部
- 5 三輪小学校合唱団
- 6 長野県短期大学 ウィンドオーケストラ
- 7 城東小学校合唱団
- 8 歌・ピアノ・チェロ 『スーリーズ』
- 9 長野市民吹奏楽団



三輪地区 ひまわり広場

三輪自治協の秋祭り
子供から大人までみんなで楽しもう!!

日にち 10月22日（日）
場所 三輪公民館、支所、駐車場



バザーも予定していますので
提供品のご協力をよろしくお願いします。
（詳細は別途周知させていただきます。）

総務(区長)部会

「活き生き三輪みんなでトーク」開催！

7月8日(土)、135名の参加者と市長を迎えて三輪公民館で開催されました。

今年度は、長野県立大学が来年の4月に開学されることから「県立大学開学を見据えたまちづくり」をテーマに、大学、行政、地域と様々な立場の皆様が一堂に会し、今後のまちづくりや大学との具体的な連携について意見交換を行いました。



【基調講演】

テーマ：県立大学と地域との連携について

講師：長野県立大学 学長予定者（慶応義塾大学名誉教授） 金田一真澄さん
長野県立大学設立準備課 企画幹 金子 功さん

金田一先生からは、初めて県短期大学を訪れた際、美和神社の立派なけやき、昔奉納された算額など、アカデミックな町の雰囲気を変えたいと感じたこと、また、県短大では、先生と学生の距離が近いこと、お互いによく理解しあっていることに大変感動し、県立大学では、先生と学生の距離が近い、教育の質の高い大学を作りたいと考えたといったご自身が県立大学に関わられた経緯のお話がありました。

次に、新しい大学の教育理念に関する説明がありました。

地域との関わりとしては、「新しい大学の食堂や図書館は、地域の方にもご利用いただけるので、おいにご利用いただき、学生と交流をしていただきたい。また、学生が地域に迷惑をおかけする場面もあるかもしれないが、遠慮なく言っていただきたいし、ボランティアやお祭りのお手伝いなど、地域活動にもどんどん関わらせていきたいと考えているので温かく見守っていただきたい。」とのことでした。

続いて、金子企画幹からは、三輪のキャンパス内に設置される学生サポートセンターが学生の相談に乗ったり、地域の方と学生をコーディネートするところになるとの説明がありました。

「敬老会、公民館、PTAの活動等に学生のサークルを紹介していきたいと考えており、学生のサークル活動を紹介するようなパンフレットをつくるので、地域の方にも気軽に声をかけていただきたい。また、学生は教員や職員だけが育てるものではなく、ぜひ地域の方も一緒に育てていただきたい。課外での活動、教育が非常に重要で、地域との交わりも学生の成長につながるので、ご理解、ご協力をお願いしたい。」とのことでした。



【パネルディスカッション】

テーマ

県立大学開学を見据えた三輪のまちづくり

コーディネーター

小林友雄さん（元三輪地区住民自治協議会副会長）

パネリスト

金田一真澄さん（長野県立大学 学長予定者）

加藤 久雄さん（長野市長）

松本 祐 さん（三輪小学校おやじの会）

中村 駿介さん（長野県短期大学幼児教育学科 3年）

徳武 康夫 （三輪地区住民自治協議会長）

パネルディスカッションでは、松本さん、中村さんからは、実際に経験された活動のご報告をいただきました。徳武会長からは地域のまちづくりへの思い、金田一先生、加藤市長からは感想が語られました。また、会場の皆さんからも積極的な提案も出され、有意義な意見交換の場となりました。

松本祐さん

昨年、三輪小の吹奏楽団に所属する子どもが県短のウィンドオーケストラの定期演奏会に出演させていただくというご縁をいただいた。大変貴重な体験をさせていただき感謝している。県立大学になってもサークル活動の中でぜひ継続していただきたい。また、地区で子どもの居場所づくりを進めていきたいと考えているので、一緒に考えていく機会がいただけるとありがたい。

中村駿介さん

昨年9月の美和神社の秋祭りに、県短生数名で相ノ木西区のお祭りに参加し、お神輿を担がせていただいた。地域の人との交流の中で、あらためて県短大は地域の方に支えられているということを感じた。自分は3月で卒業するが、今まで以上に地域と密着した大学になることを願っている。

徳武会長

県立大学に期待したいことは4つある。①学園都市のシンボルとして、大学の存在が地域の一体感活性化に繋がること ②人口が増えること、特に若い方が増えることで住民の気持ちも若返り、明るくなる ③優秀な先生にこれまで以上に自治協や町の事業に関わっていただけるとありがたい ④大学を住民にも開放いただくことで住民の憩いの場、交流の場として利用できる。

加藤市長

学生、先生も増えるということで、三輪地区の活性化に結びつくものと思っており大変期待している。今学生が市外、県外へ流出してしまい、なかなか長野に帰ってこないという現状があり、故郷への思い、家族への思いが薄くなってきているのかと感じるときもある。お祭りや行事を学生と住民が一緒に行うことで、故郷への思いが醸成されるのではないかなと思う。

金田一学長予定者

京都にある「哲学の道」にちなんで、三輪にも学生が「思索をする散歩道」があるといいと思う。候補になるものがあつたらぜひ教えていただきたい。

小林コーディネーター

県立大学がこの三輪の地に開学する喜びを大学と地域が共有しており、お互いの願いを実現していくことが、まさに大学と地域の連携ということなのかと感じた。両者で真の連携を構築しながら、次世代を担う青少年が育つなかで、グローバルな視野を持った活気ある豊かな地域づくり、まちづくりに励んでいきたい、そんな気持ちが高まってきたように思う。

健康・福祉部会

三輪地区 ボランティアセンターOPEN！

平成29年7月7日（金）「三輪地区ボランティアセンター」が開所いたしました。

三輪の地域でボランティアをしている方、これからボランティアしたい方、助けを待ち望んでいらっしゃる方、そして長い間ボランティアセンターの開所を心待ちにして、準備を進めてこられたスタッフの皆の思いが一つとなり、一つの形になりました。長野市で16番目の地区ボランティアセンターです。

開所式には50人近い皆さまにお集まりいただきました。皆さまの祝福に感謝申し上げます。テープカットのセレモニーの後、和やかな雰囲気の中、ボランティアによる合唱やマジックが披露されました。室内は季節の花や黒板チョークアートで飾られていて、ボランティアの皆さん一人ひとりが作り上げていく、そこが「三輪ボラセンの強み！」と言えると思います。

まだ生まれたばかりのボランティアセンターです。三輪地区の皆さまに共に育てていただきたいと思います。

地域で人と人のつながりを作る窓口となる場所が地域のボランティアセンターです。地域の縁側として皆さまに気軽に立ち寄りいただける場所です。

- 開所時間：月・水・金 9：30～12：00（当面の間）
- 場所：三輪支所1階
- お問い合わせ：TEL 026-225-9567 中村・清水



どなたでも、お気軽にお出掛けください

ボランティアセンター



9月の開所予定日

1日・4日・6日・8日・11日・13日・15日
20日・22日・25日・27日・29日

安全・安心・防災部会

特殊詐欺防止研修会の開催

7月3日（月）、特殊詐欺防止研修会（兼平成29年度三輪地区防犯指導員研修会）が開催されました。各区防犯指導員と一般参加者合わせて70名の方が出席されました。

特殊詐欺被害の実態について、長野中央警察署生活安全第一課の今博士係長にお話しいただきました。特殊詐欺犯罪者は日に200件くらいの電話を掛ける。それらはすべて巧妙に作成されたマニュアルに従って行われる。いわば特殊詐欺のプロ集団である（こんなプロは御免です）。一般の方々は素人ですから、素人がプロにかなうわけがありません。犯罪者の言葉に反応すれば、言葉巧みに相手のペースに引きずり込まれてしまいます。不審な電話には絶対応じないこと、すなわち電話を切ってしまうべきです。

続いて、長野県くらし安全・消費生活課の新井美雪課長補佐に、電話による特殊詐欺模擬対応を行っていただきました。犯人役を演じた新井課長補佐が、参加者による被害者役を言葉巧みにATMに誘導する保険還付金詐欺の応答場面が展開されました。最初に被害者役になっていただいた女性参加者は、支払った医療費はきちんと管理しており、還付金の発生は該当しないと述べて、犯人を諦めさせました。次の男性参加者は、ATMのあるコンビニより支所の方が近いので還付金はどうしても支所で受け取りたいと言って犯人を困らせました。いずれも立派な対応でしたが、犯罪集団は更に手を変え品を変え、今後も一般市民に襲いかかってくるでしょう。

三輪地区の安全と安心を確保するために、今後も地道な防犯活動を推進して参ります。



教育・文化部会

教養文化講座 (第1回)

平成29年7月8日(土) 10時～12時10分
善光寺 仁王門～参道西側 参加者56名

善光寺参道の西側は重要な史跡があるのに、意外と訪れる人が少ないということで、今回、“善光寺の謎と魅力、知られざる西側を歩く”と題し、長野市伝統環境保全審議会会長の相原先生から熱心で分かりやすい説明をいただきました。大半の参加者は「目から鱗」の境地だったと思います。

- (1) 当日は梅雨の合間の晴天で気温が高く、各人が水分を補給しながら熱心に聴講し、随所で質問も出て予定時間を超過しました。
- (2) 先生からいただいた資料は8頁にわたる手作りで丁寧に手書きされたものでした。事務局で資料をカラー刷りにして配布したところ、参加者には大変好評でした。
- (3) 集合場所の仁王門のすぐ西側に良寛碑があることは、大半の参加者は知らなかったのではないかと思います。
- (4) 善光寺には25の院（大勧進：天台宗）と14の坊（大本願：浄土宗）があることは知られていますが、火災除けや魔除けとして猪の目、懸魚など、初めて知る言葉が多々あり、その実物も拝見することができました。特に、大勧進西側門には、魔除けの獅嚙（しかみ）が梁の上に見ることができました。
- (5) 宿坊の一つ、「本覚院」では静岡県の桜ヶ池につながっているといわれる床下の池を拝見しました。
- (6) 弥栄神社では、偶然、祇園祭の準備をしていた宮司さんが居合わせ、本殿などについて説明をしていただきました。
- (7) 善光寺北西隅にある新しいトイレ（ご安心処）はコンクリートの上に、奈良時代の木造作りを模造してあるとのことで、1千万円の費用がかかっているとの説明がありました。



環境・美化部会

長野市環境政策課からのお願いを抜粋してお知らせします。

家庭ごみの出し方

●プラスチック容器包装

プラスチックをそのまま、黄色の指定袋に入れてください。ビニール袋やレジ袋などに入れたり包んだりしたものを指定袋に入れる「二重袋」は禁止です。

●剪定枝葉

袋は透明か半透明で、中味が見える袋。今年度から、旧指定袋（赤の不燃用袋、緑の可燃用袋）を剪定枝葉用に利用できます。手数料シールは不要です。

●カラス対策にご協力を（露天のごみ集積所に出す可燃ごみ）

料理残りの肉や魚・惣菜弁当などの食べ残しなどの生ごみは、水切りして、新聞やチラシなどに包んで指定袋に入れてください。

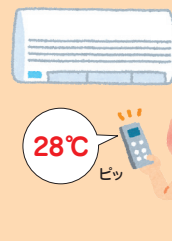
収集日当日に出してください（前日夕方や、数日前から出される可燃ごみは、カラスが突っきます。生ごみの食い散らかしを片付ける人の気持ちになりましょう。）。

節電にご協力を

電力消費が増加する季節になりました。地球温暖化や異常気象の低減には、節電が欠かせません。また、節電は家計の負担低減にもつながります。

●エアコンの節電

- ・設定温度を28度にする。
- ・扇風機を併用する。
- ・窓の外にすだれやよしずを設置する。
- ・カーテンやブラインドを閉める。
- ・月1回程度フィルターを掃除する。



これからの講座等のご案内 (9月から10月)

9月 7日 (木)	子どもと親の育ちあいサロン「エプロンシアター」 三輪公民館 3階ホール／健康・福祉部会 防災講演会
9月 9日 (土)	三輪公民館 3階ホール／総務（区長）部会 「善光寺の歴史深訪」 仁王門集合／教育・文化部会
9月19日 (火)	いきいき講座「栄養講座」 三輪公民館 学習室Ⅰ／健康・福祉部会
9月30日 (土)	「わくわく みわの日 スポーツコミュニティ」 三輪体育館（相ノ木西区）／スポーツ推進委員

10月 5日 (木)	子どもと親の育ちあいサロン「ミニ運動会」 三輪公民館 3階ホール／健康・福祉部会
10月17日 (火)	いきいき講座「室内運動」 三輪公民館 3階ホール／健康・福祉部会
10月23日 (月)	料理講習会 三輪公民館 料理教室／健康・福祉部会

